

The best way to predict the future is to create it.

Odaka Tech Corp.

•塚本真也

•地方創生 x ITをテーマに地域起こし協力隊活動中

• 1971東京生まれ → 1993IT企業就職 → 2006パラグアイ

へ→ 2008上海へ→2012ルワンダへ→2015ジャカルタへ

→2020南相馬市へ (活動開始2年8カ月経過)

ITを活用した少子高齢化・人口減少社会の課題解決

地域にデジタル人材を増やす

地域のデジタル人材を育成する

デジタル人材と地域の課題を結びつける

デジタルを活用した課題解決ビジネスが地域に根付く

代表プロフィール

塚本真也

Next Commons Lab 南相馬メンバー ローカルシステムエンジニアプロジェクト 南相馬市 CIO補佐官(DX推進アドバイザー)

主な経歴

- ●東京都目黒区出身
- ●1993年 法学部卒
- ●1993年 都内IT企業入社
- ●1996年 フリーランスのITエンジニアへ転身、商業施設向けシステム開発販売
- ●2001年 SaaS開発会社の取締役兼システム部長として製品開発を主導
- ●2006年 パラグアイにて青年海外協力隊活動へ参加(職業訓練学校)
- ●2008年 前職へ復職、子会社の立ち上げで上海へ赴任
- ●2012年 ルワンダにて青年海外協力隊活動へ参加(国家警察本部)
- ●2015年 インドネシアの日系ファイナンス企業にて IT部門のシニアマネージャとして勤務
- ●2020年 NCL南相馬(起業型地域おこし協力隊)着任、株式会社小高テック工房設立

スキル/経験

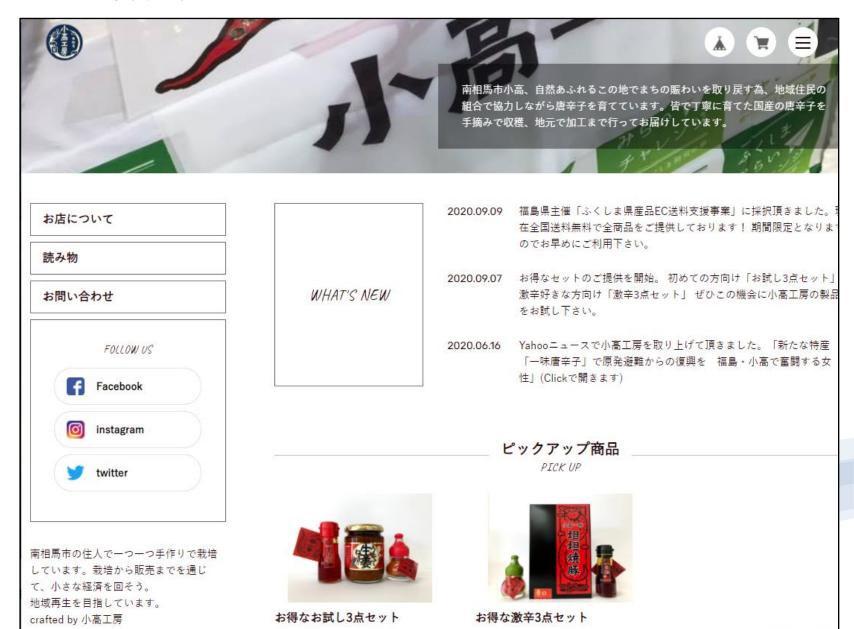
- ●ITコンサルティング、DX、ITガバナンス、情報セキュリティ、エンジニア組織構築、グローバルコミュニケーション
- ●DXアドバイザー検定「スペシャリスト」 (一般社団法人中小企業個人情報セキュリティー推進協会)



地元商店デジタルマーケティング支援事業

小高でとうがらし栽培の6次産業を手掛ける小高工房様のデジタルマーケティングサポート事業

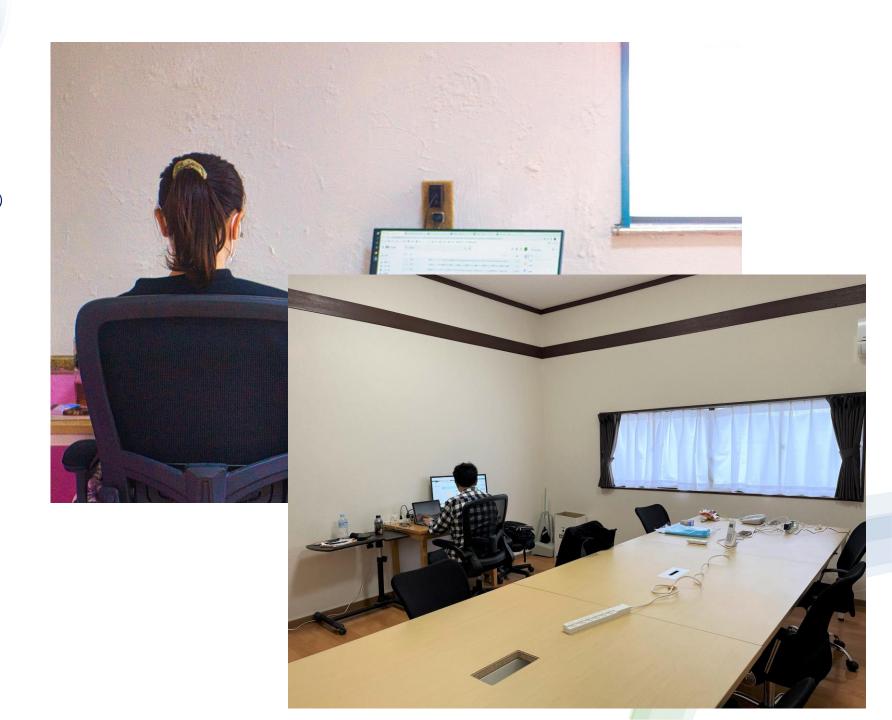
2020年9月~



IT企業・人材誘致事業

IT企業の南相馬拠点開設 支援、シェアオフィス・ コワーキングスペースの 運営事業

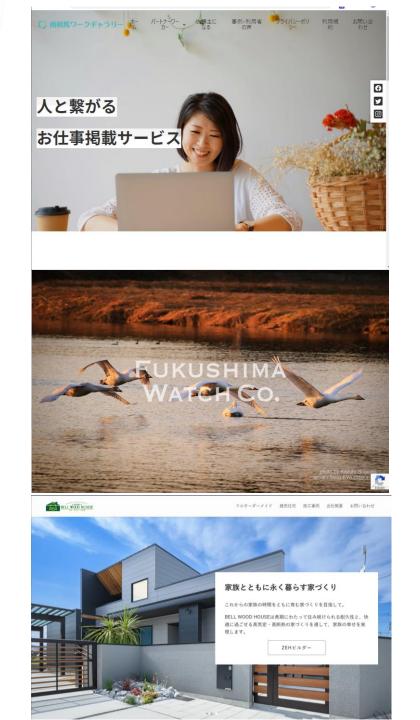
2020年10月~



WEBサイト制作事業 地元企業・団体向けWEB サイト制作事業 2020年11月~





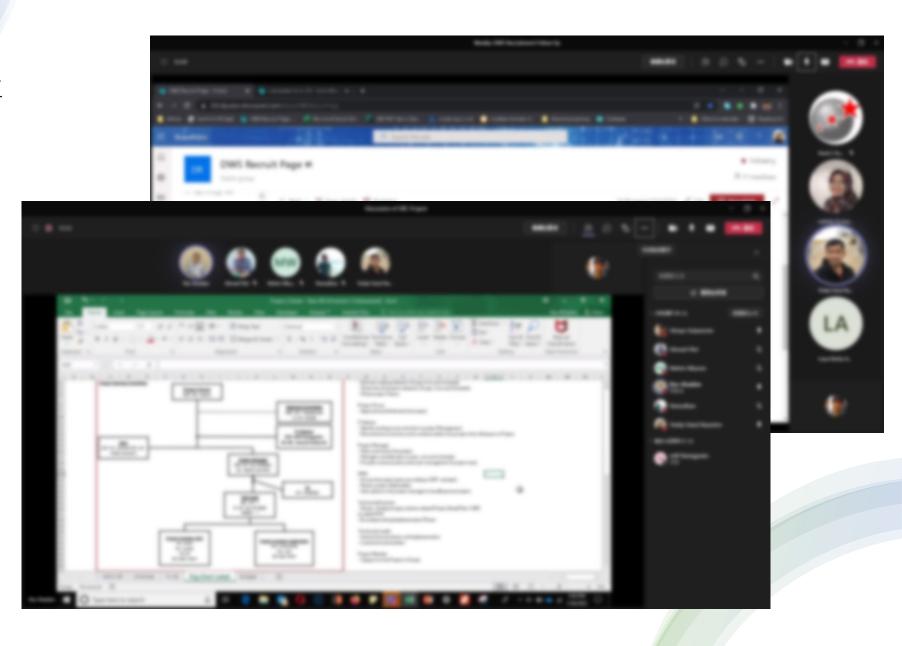




ITコンサルティング事業

リモートワークを中心と した国外企業向けITコン サルティング事業

2021年1月~



まちのIT屋さん事業

地域のITなんでも相 談事業

購入相談、設置代行、 トラブル対応等

2021年8月~

ITやデジタル機器に関する 困りごとはありませんか?



パソコンの調子が悪い スマホの使い方が分からない デジタル機器購入の相談をしたい 会社にITツールを導入したい Webサイトを作りたい

ITの活用法、そもそも導入できるの?など、どんな疑問でも

お気軽にご相談ください



サービスに関する詳しい内容は tsukamoto@odakatech.comまで お問い合わせ下さい。 株式会社 小高テック工房 小高区本町一丁目53番 https://odakatech.com/





サービス内容

- Webサイト制作
- ECサイト制作

新規サイト構築、サイトの改 善や機能追加など、現状をヒ アリングしながら、最善策を 提案させていただきます。

相談

- PC / スマホについて
- DX (デジタルトランス フォーメーション)
- ITセミナー

IT / テクノロジーに関するこ となら何でもご相談くださ い! ※予約制

- コワーキングスペース イベントスペース
- シェアオフィス

月々単位のオフィススペース の貸出しや各種イベントでの 利用、会社所在地としての登 記も可能です。

小高テック工房は、町のパン屋さんや電気屋さんのよ うに、地域の人々の暮らしに寄り添う「町のIT屋さん」 でありたいと考えています。

「こんなまちあったらいいな」をテクノロジーを活用し て実現していきます。だれもが安心快適で、賑わいのあ るまちつくりの為にみなさんの声を聞かせてください。

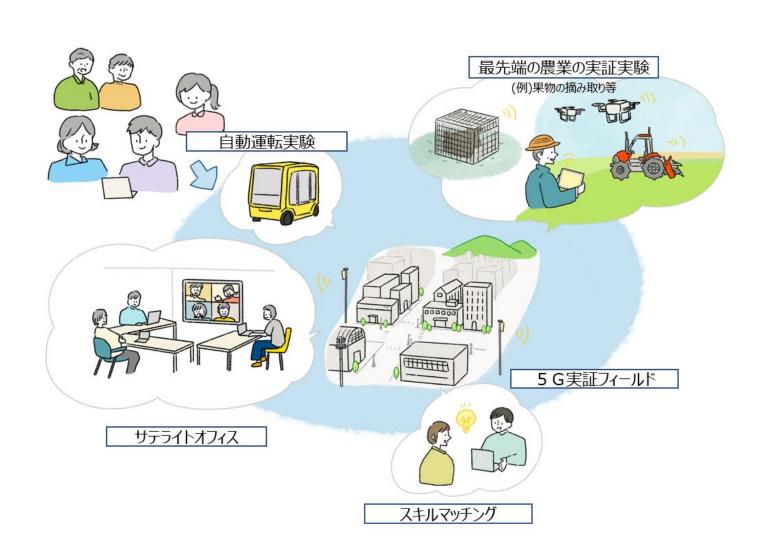


小高テック工房

Sler集積 / ITエンジニア移住促進事業提案

南相馬市役所との協業による、地域へのSler集積・ ITエンジニアの移住促進を目的とした事業を提案中(総務省L5G導入計画策定支援の実施)

2022年2月~



Sler集積 / ITエンジニア移住促進事業提案

令和4年度中のパイロッ ティングプロジェクトの 実施を検討・提案予定 2022年5月~ 数年後に「こうなっていたらいい」というイメージとロードマップ

目的を明確にする為、KPIを設定 SIer誘致数(IT事業者数、エンジニア移住者数)、課題解決型PJ・実証実験の実施数 ※累積数

機運醸成・パイロッティ ング R4年度 環境整備・実装

R5年度

拡大

R6年度

定着・成果

R7年度

- (行政や地域住民がIT による変化をイメー ジできてない状態)
- 事業検討会・アイデアソンなどを通してイメージを共有・機 運醸成
- 実施主体、事業コン ソーシアムの組成
- 行政職員や地域の行政区長、特定行政区の巻き込み
- 誘致の呼び水として のパイロッティング PJ実施
- R5年度以降へ向けた ITインフラ整備中期計 画策定・予算化

KPI (4事業者、4移住者、1PJ)

- ITインフラ整備中期計画の一部実装
- 各種誘致イベントの企画・広報
- シェアオフィス、住宅 などの周辺環境整備の 検討
- 住民巻き込み
- 官民共同の誘致・伴走 支援の仕組みを構築

- ITインフラ整備中期 計画の実装拡大 (まちなかセン サー等)
- 誘致の拡大
- 住民巻き込みの拡大
- ITサービス実証 フィールド運営事 業の採算性確立

- 移住者増加
- Slerの集積が進む
- いくつかの地域課題 が実証PJの成果から 解決されている
- 地域に雇用が生まれている
- IT産業が南相馬市の 重要産業の1つに なっている
- 行政DX、EBPMへの 取り組みが行われ行 政サービスが向上し ている
- コミュニティが再生、 全世代が共に暮らし やすい街になっている

KPI (20事業者、50移住者、10PJ)

KPI (6事業者、8移住者、3PJ)

KPI (10事業者、30移住者、5PJ)

相双地区高等学校向けICT支援員

GIGAスクール構想に基づいた 福島県による高等学校のICT教 育支援員制度への参加を契機に、 地域のIT人材の創出に繋げる取 り組みを開始。2022年5月~

(南相馬市IT関係者有志により 相双地区高等学校を分担して担 当)訪問校:

小高産業技術高校

(相馬支援高校)

(原町高校)

(相馬農業高校)

(相馬高校)

(相馬総合高校)

GIGA スクール 構想の実現へ

1人1台端末は令和の学びの「スタンダード」

多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、子供たち一人一人に公正に個別最適化され、 資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境の実現へ





文部科学省WEBサイト

https://www.mext.go.jp/content/20200625-mxt syoto01-000003278 1.pdf

中小企業向け講演

南相馬市の中小企業様向けに 「中小企業が取り組むべきDX とは」講演を開催。

2022年6月

中小企業のDX(デジタル・トランスフォーメーション)

『まちのITやさん』として小高で創業・・・・塚本社長に訊く 「私たち中小企業が取り組むべきDXとは?」



聯塚本 真也氏

(株) 小高テック工房 代表取締役

創業:2020年

地域の課題を地域の力で、テクノロジーを活用することで解決!

https://odakatech.com/

日時: 2022年 6月14日(火)18:30開会

会場:小高パイオニアヴィレッジ

南相馬市小高区本町1-87 TEL0244-26-4665

(オンラインの場合は) ΖΟΟΜ



地域の福祉情報共有システムの提案

要介護などケアを必要とする市民のワクチン接種・介護状況・災害避難・消防救急の対応履歴等を医師・介護士・行政・ケアマネ等の専門家間で適切に共有する仕組みを南相馬市や近隣行政に提案中(川電子@連絡帳)

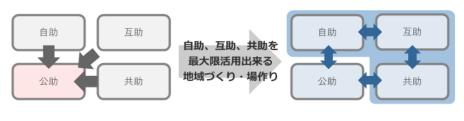
2022年7月~

地域の専門職と行政の連携をリデザイン



地域の役割と連携

住民へ価値提供を最大化し、専門職と行政の連携コストを最小化するプロセスの創出を目指す。



公助に頼りきる仕組みでは 地域運営は難しい。 自助、共助、互助が十分活躍出来る 場作りを目指す。

IIJ電子@連絡帳サービス

持続可能な地域づくり 連携によるプロセスの最適化

資料提供 株式会社インターネットイニシアティブ

南相馬市 CIO補佐官 受嘱

南相馬市のCIO補佐官(DX推進アドバイザー)を受嘱。

2022年9月

【令和4年9月1日】南相馬市CIO補佐官の委嘱状交付式

更新日:2022年09月02日

令和4年9月1日、4名の有識者を南相馬市最高情報統括責任者(CIO)補佐官に委嘱しました。

市では、自治体のデジタル・トランスフォーメーション (DX) をを着実かつ効果的に推進するため、今年8月に推進体制(南相馬市デジタル推進本部)を構築しました。

今回、4名のCIO補佐官には、この推進体制の強化のため今後様々なアドバイスなどご協力をいただきます。

南相馬市CIO補佐官

プロデューサー

若生幸也氏(株式会社日本政策総研 副理事長)

プロジェクトマネージャー

但野健介氏(一般社団法人パイオニズム 理事)

サービスデザイナー/エンジニア

塚本真也氏(株式会社小高テック工房 代表取締役)

山内琢真氏(IT個人事業主)

(補足)

プロデューサー:デジタル戦略等全体的なDX推進アドバイザー

プロジェクトマネージャー:プロジェクト企画・管理等を担うDX推進アドバイザー

サービスデザイナー/エンジニア:適切なデジタルツールの提案や業務プロセスの見直し等を担うDX推進アドバイザ







南相馬市WEBサイト

https://www.city.minamisoma.lg.jp/portal/sections/11/1110/11103/1/topics/19408.html

その他

市民向けデジタル相談会を開催(原町NARU) 2022年9月





おだか秋祭りでドローンを使ったUFOキャッチャーを出店(小高工房)2022年10月



未来を予測する最良の方法 は、未来を創り出すことだ

エイブラハム・リンカーン

hbkmmmのゲーム紹介

自己紹介

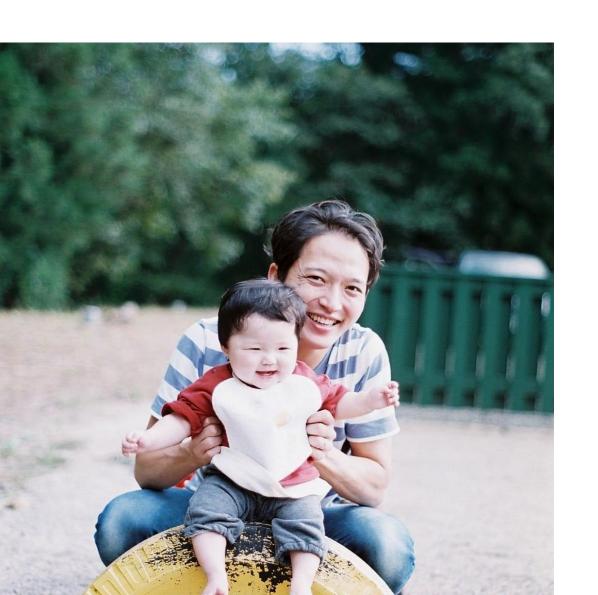
- ▶ 名前 松村 響 学年 高校一年生
- **年齡** 16歳
- ▶部活動 数科学部
- 好きなゲーム ポケットモンスター スーパーマリオ

ゲームを作ろうと思ったきっかけ

ゲーム作ってみたら?



僕の先生



名前

森山 貴士さん (もりりん)

ゲ一丛紹介







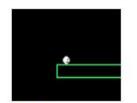








hbkmmm » 共有したプロジェクト (17)



remix用 書いた人 hbkmmm



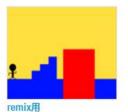
ハンバーガー 書いた人 hbkmmm



eggハンター 書いた人 hbkmmm



書いた人 hbkmmm



書いた人 hbkmmm



remix用 書いた人 hbkmmm



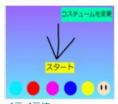
ポンピン 書いた人 hbkmmm



書いた人 hbkmmm



ホラーゲーム 書いた人 hbkmmm



イライラ棒 書いた人 hbkmmm



書いた人 hbkmmm



書いた人 hbkmmm



書いた人 hbkmmm



書いた人 hbkmmm



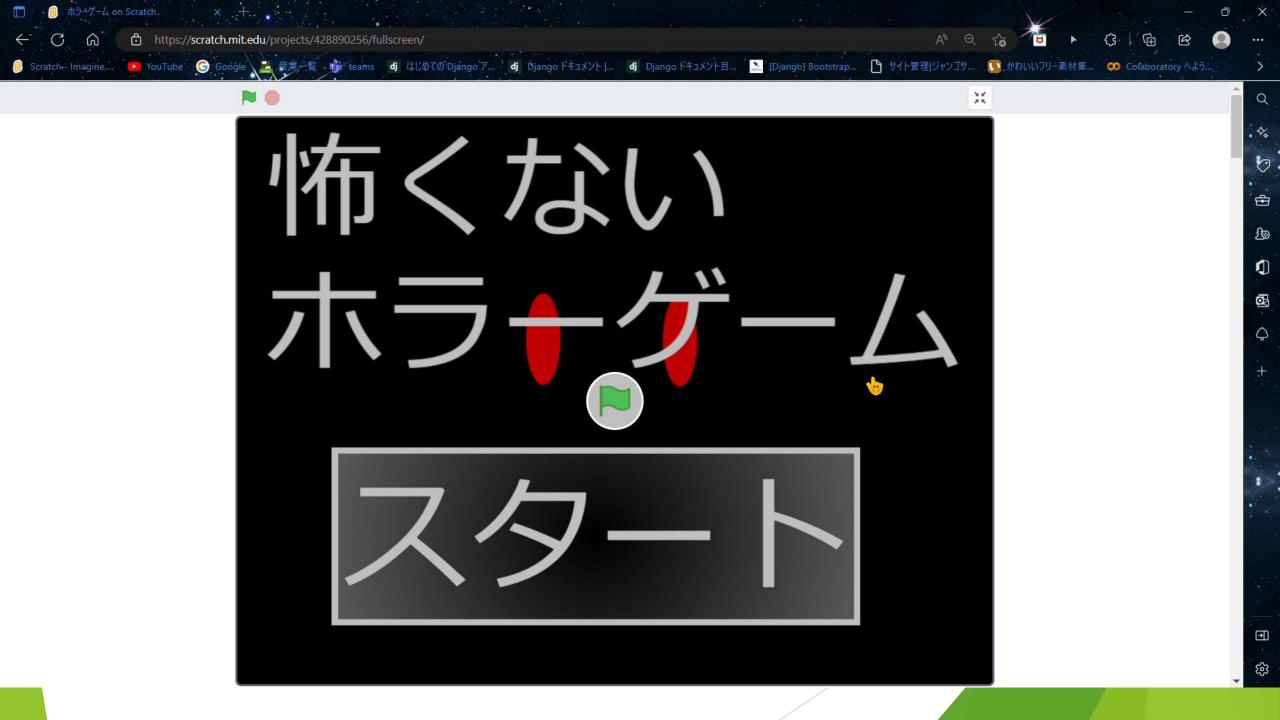
書いた人 hbkmmm



書いた人 hbkmmm



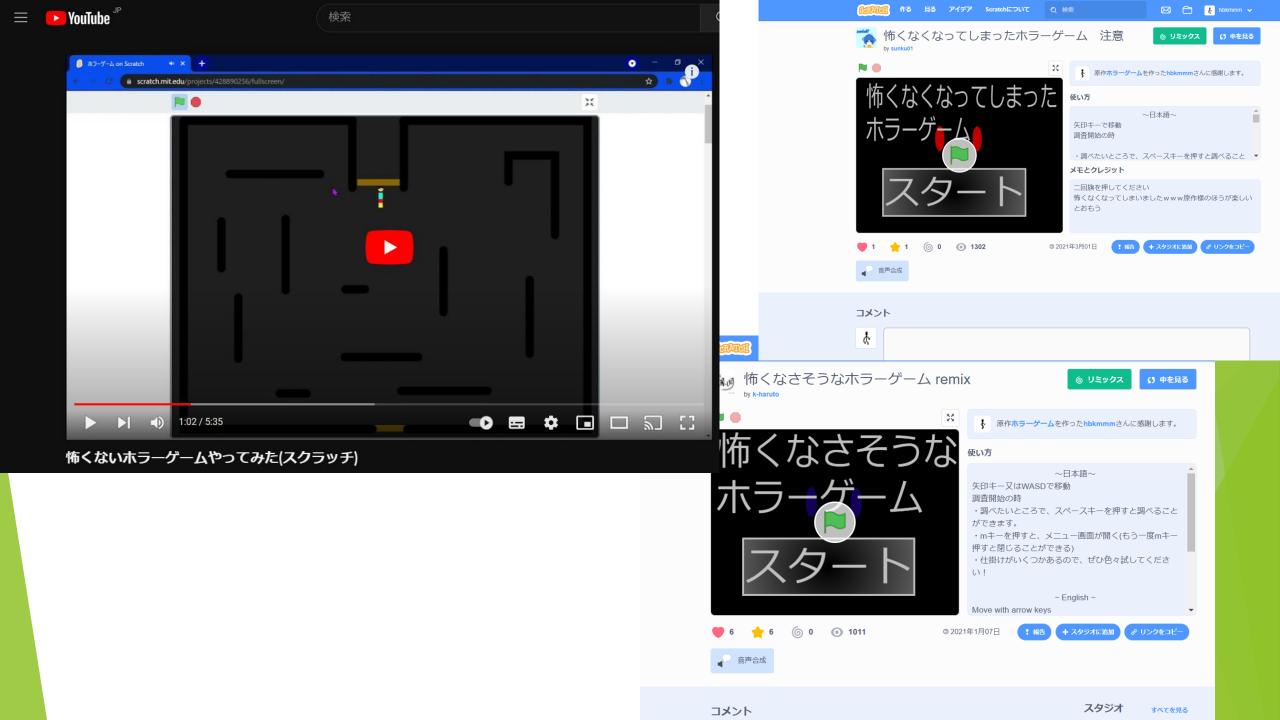
書いた人 hbkmmm



Scratchでの会話





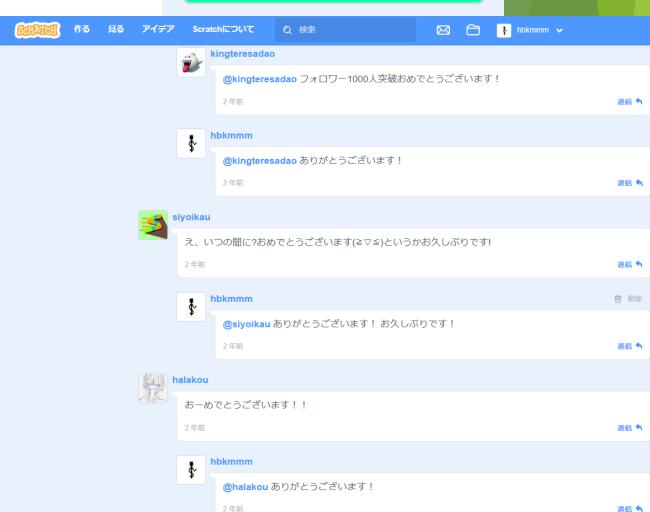


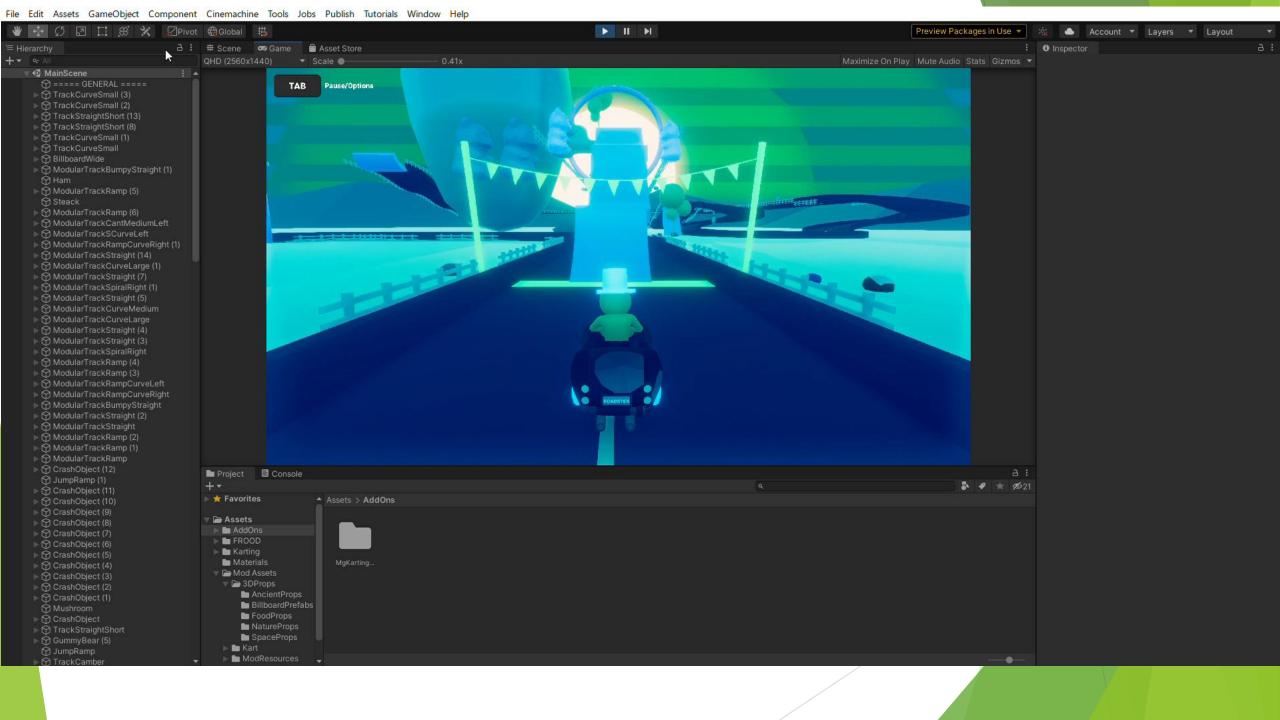


↑ 僕の弟子さんに作ってもらった

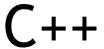


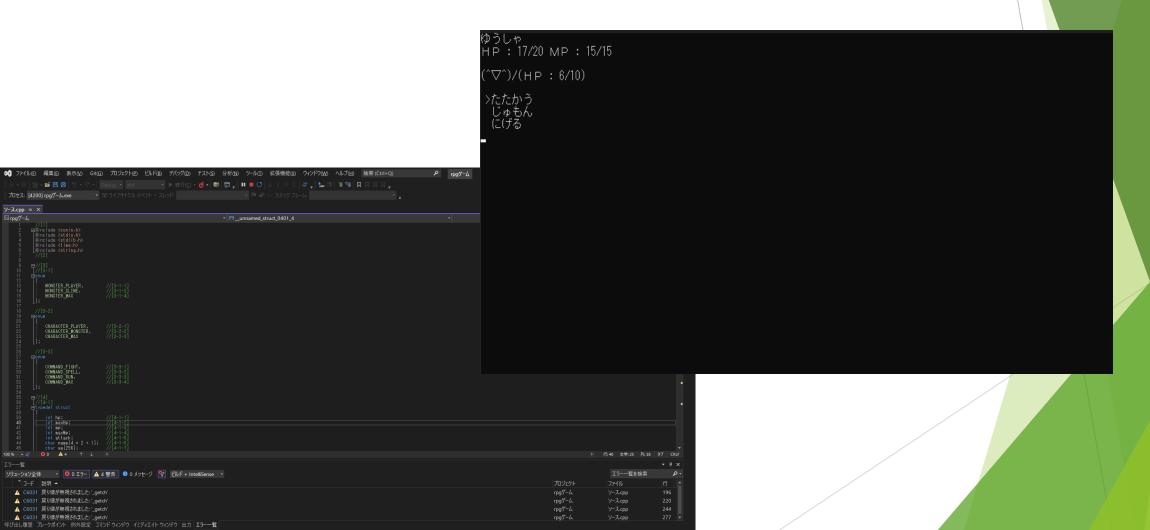






他にも





Scratch ID <u>hbkmm</u>





一般社団法人オムスビ コミュニティ構築について

2022年5月22日更新

自己紹介



森山貴士

一般社団法人オムスビ 代表理事

年齢: 35

移住: 2014~(移住当時は27歳)

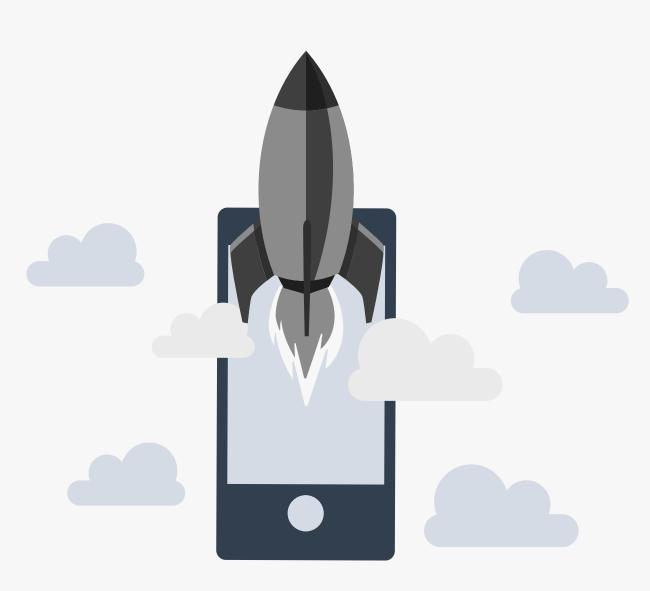
出身: 大阪府大阪市

前職: ソフトウェア会社のITエンジニア

地域の経営資源を高め、まちを豊かに。

地域社会を豊かにするためには、 人を育て、多様な人材を集めて組織化し、 地域の"経営資源"を総結集することが重要だと考えています。

- **01** 自分たちのできることを増やす 経営能力や技術力を高める
- **02** 仲間を集める スタッフとしての仲間、協働相手としての仲間
- 03 仲間と一緒にできることを増やす 地域資源を総動員して描ける姿をみなが ら、今できることをする



<u>次世代の</u> 種をまく



プログラミング、 課題解決の教育



未来の 可能性を示す



<u>未来の</u> 可能性を示す







これからの小高のまちの方向性と具体的な方法を考えてみた。

編集部で議論した内容をまとめてみました。これが正しい、ではなくさまざまなご意見のたたき合になればよいなと思います。

実践的な学びと実践の場 としての学校・教育環境

企業と連携してビジネススキ ルやプログラミングなどの技術 を身につける授業や、企業や地 元の商工会などと一緒になって 商品開発をするなどの実践の場 をつくっていくことで、小高の 高校が外からでも入りたくなる



これまでなかった おしゃれなお店

カフェやアパレルショップ、 スポーツや音楽を楽しめるよう な、若者たちが集い、交流でき る施設を整備します。

つくって終わりではなく、「次 自分たちでもこんな場所を作れ る」という未来を見出してくれ れば、よい循環が生まれてきま す。そうした若者たち向けの経 営相談や技術訓練がビジネスに なるかもしれません。

地元で続けられる 「憧れる」仕事

単純なことかもしれませんが 「この場所で働きたい!」と強 く思えるような仕事をうみだし

地元に貢献できるやりがいの ある仕事であることや、単純に たりかもしれませんが、とにか く若者が残り続けたいと思える 仕事を小高に増やしていきま

乗り合いサービスで 免許がない人も移動が楽に

昔の e- まちタクシーを発展さ せ、タクシーだけではなく近所 同士や親戚同士でも、目的にあ わせてついでの乗り合いができ る仕組みを整えます。

街中は電動アシストの自転車 や自動4輪車がレンタルでき、 買い物も便利にできるように なっています。

親子や孫と、離れていても 状況がよりわかるように

毎日元気に過ごしているか、 助けを必要としていないかを見 守りセンサーや日々の生活状況 から判断します。毎日のデータ はお医者さんに活用してもらえ れば医療に役立てることもでき

テレビ電話も高齢者でもあつ かえるように、ボタン一つや音 声でできるように変わっていき

生きがい・生活を 社会全体で支援する

放射能汚染や過疎化による自 担増、自身の高齢化でやりづら をロボットやドローンが負担し たり、放射能や土の状態をセン サーが見極めてくれたりと、生 きがいだった農業をより安全・ 安心にできるようになっていき

CONCEPT3

地域の課題を多世代で解決する街

10年後には、若い世代が育ち、地域の課題を解決する新しいビジネス が生まれています。高齢者の課題を若者が解決する。若い人の取り組み に住民みんなで意見を出し、改善していく。みんなが一緒に問題を解決 し、よくしていく街にしていきましょう。

高齢社会でも豊かに暮らせる街

行政主導で目指すコンパクトシティ

「助け合い」の文化をITでもっと効率的に

POINT!!

小高では、調査などから昔ながらの「支えあい」「助け合い」の文化を発表った。 ます。また、解除に向けて「住みよいまちを取り戻そう」という発祥なから、たからあたいらっし

人口が一度ゼロになってしまった。それがゆえに、一からサービスを集ま んどん実現していける街にしていきませんか?



チャレンジする若者が集まる街

地域で活躍する、高い技術力を持った人材の育成 彼らが具体的・実践的にチャレンジできる課題やフィールドとしての小高

POINT!!

小高では、小高商業高校と小高工業高校が合併して、モノづくりや情報に強い学校が出来る予定と なっています。また、イノベーションコースト構想で浜通りに技術者の需要と資本が生まれ、彼ら を育てるためのお金や企業が生まれる可能性があります。

この流れをきちんとつかむことで、若者を育て、彼らが地域で活躍できる土壌を産み出すことが実 現できれば小高はぐっと良い街になると思いませんか?





変えればチ



試作する



キッチンカー

まずニーズのありそうなこと、やってみたいことをを試してみる。 「地域にカフェが欲しい」という ニーズを最小要件で試作

<u>参加</u> してもらう



ソーラーライト

コーヒーと一緒にソーラーライト を買ってもらい、街に明かりを増 やしていくキャンペーン。 150本のソーラーライトを設置し た。





<u>少しずつ</u> 育てる



カフェの店舗化

キッチンカーを店舗に。有償でス タッフを雇用しても継続できる 売上をつくる

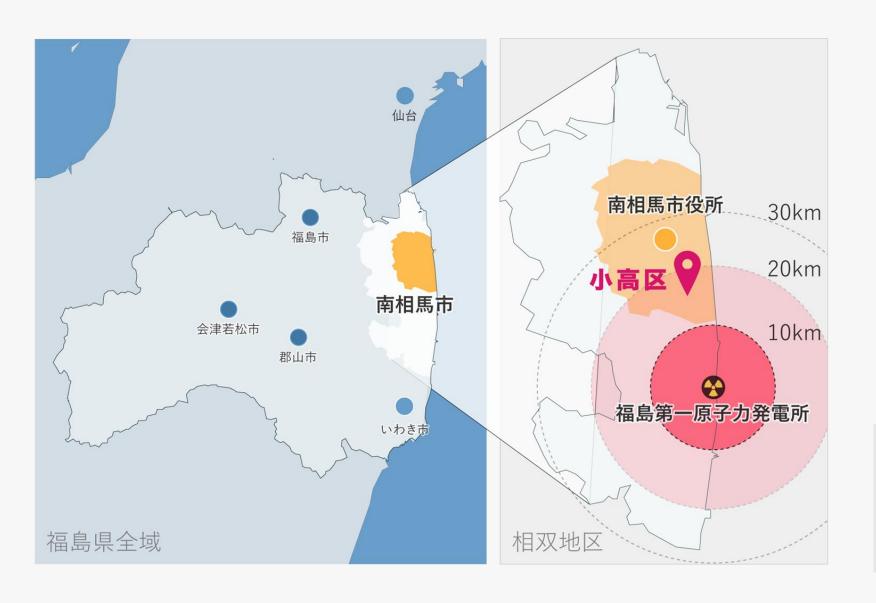
<u>参加</u> してもらう

いろんなイベント

老若男女、いろんな人と主催・参 加してもらうイベント



福島県南相馬市小高区について



原発災害の旧避難地域 2016年に避難指示解除

人口: 約3,800

名

帰還率: 約30%

高齢化率: 約50%

まちの存続の危機 アイデンティティの喪失 仕事と雇用

試作する



おむすびマルシェ

スーパーがなくても、選ぶ楽しさ がたまにあれば面白いのではとい うことで考えた青空市。





面で機能させ、 賑わいをつくる



まちなか菜園

点で機能しはじめた小高を、 面でつなぐ。 人を外に出し、賑わいをつくる

ちゃんと 稼ぐしくみ を目指す



小高街バル

おだかのイルミネーションという 資産を使い、地域でお金を稼げる ように





<u>技術を磨き</u> <u>地域のものを</u> よりよくする



IT事業の安定と拡大

地域の中でできるIT関連の仕事を 増やす。



地域を良くするために必要な能力と 実際にできることの乖離がある

先行きが見えない、どうなるかわからない



人口3,000人の街のマーケットはとても小さい。



一握りのリーダーと、偏りのある経営資源。
外貨を稼ぎに売ってでるとしても、外の市場で戦っていく競争優位性がない

地域社会に対して何もできない辛さや絶望 「こんなはずじゃなかった」と言わなくていい社会

自分自身の無力と向き合いながら、 それでも状況を前に進めたいという人たちで 少しずつ組織化していったのが現在のコミュニティ

- 01 自分の能力を高められる チャレンジしながら自分の能力を高められる
- 02 仲間を増やせる 志を同じくする仲間や、自分と違う資源をもったビジネスパートナーとの出会い
- 03 資源が集まり、より大きなことができる 人・モノ・カネ・情報の経営資源が集まり、より大きな課題解決へ取り組める

企画構想 マーケティングの知見 デジタル技術 クリエイティブ 継続し、少しずつでも 人と人をつなげていく 泥臭さ



コミュニティ デザイン



デジタル マーケティングと プロデュース



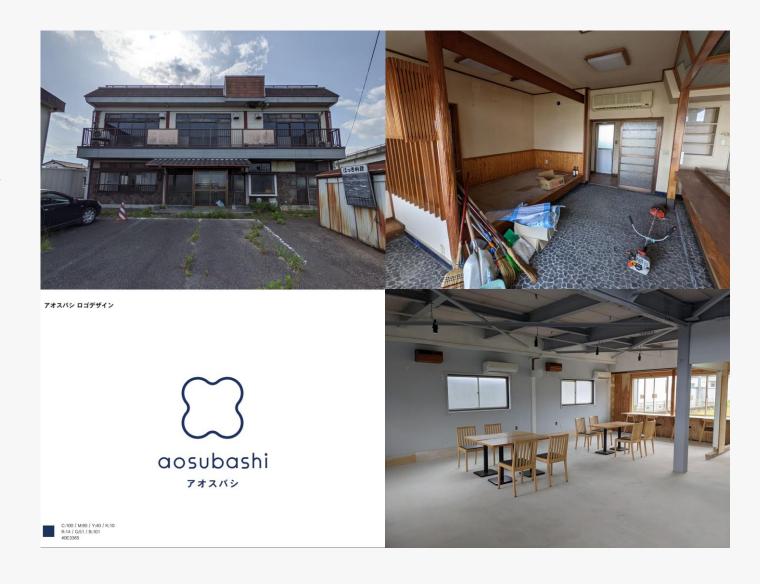
地域のDX推進 IT人材育成

駅前にあった店舗 「青葉寿司」の リノベーションプロジェクト

面積: 約280㎡

駅徒歩: 約4分

築年数: 40年

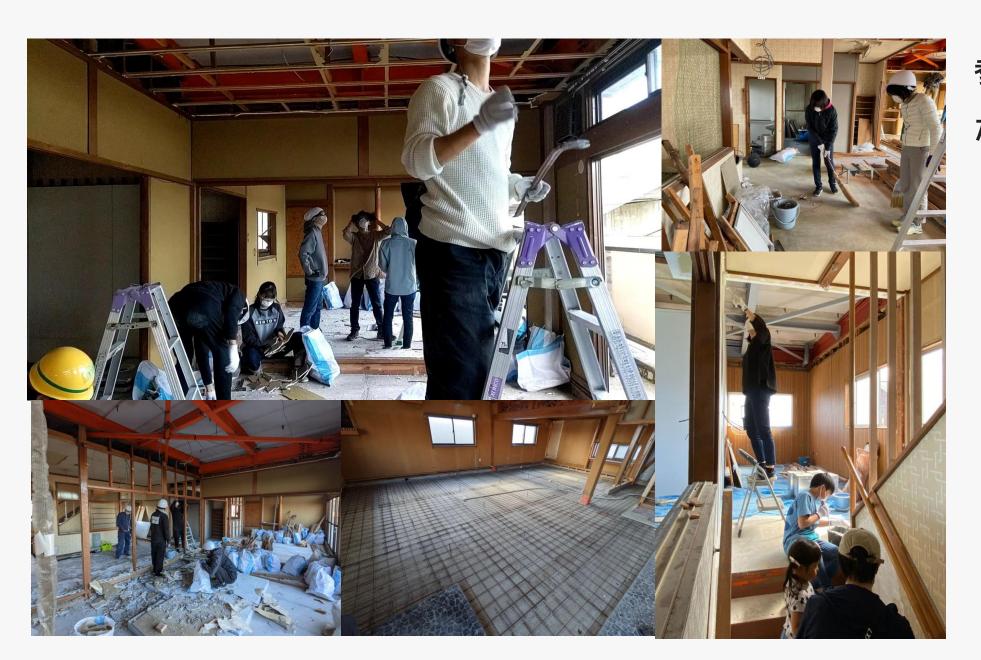


非日常のこと、ヨソモノがやっていること から、 今住んでいる地域住民の日常に「豊かさ」を





aosubashi の工事風景



参加してもらいな がらつくりあげる

3歳-72歳まで プロから学生まで

さまざまな人に参 加してもらう 地域の風土を感じられるお土産品 地元老舗菓子屋と共同開発



地域にある地域資源を、 より磨いていく

WEB制作・運用 クラファン支援 SNS運用、ライティング

などなど・・試行錯誤中なのでそんな偉そうなことは言えないです.

